

第3期恵庭市総合戦略

令和 6（2024）年度～令和 10（2028）年度

基本目標(目指すべき将来の方向性)

人がつながり
人口減少に負けない
魅力あるまちづくり

安全安心に
住み続けたいなる
まちづくり

恵庭らしさを活かした
魅力ある
まちづくり

希望を持って
子育てしたくなる
まちづくり

具
体
的
な
施
策

- | | | |
|-----------------|-------------------------------|---------------------------|
| ①多世代交流・多文化共生の推進 | ⑩地域資源（観光・文化資源）
活用・観光振興 | ⑰個々人の希望をかなえる
少子化対策推進事業 |
| ②広域化による機能維持・増進 | ⑪地域産業活性化 | ⑱妊娠・出産・子育ての
切れ目のない支援 |
| ③駅周辺の賑わいづくり | ⑫ゼロカーボンの推進、
地域エネルギー有効活用 | ⑲教育環境の充実、学力向上 |
| ④公共施設マネジメント | ⑬就労促進 | |
| ⑤PPP・PFIの推進 | ⑭中小企業支援事業・起業家支援 | |
| ⑥暮らしの情報発信・充実 | ⑮移住定住促進 | |
| ⑦住宅政策の推進 | ⑯高等教育機関等と連携した
若者定着と知の拠点づくり | |
| ⑧健康・長寿の推進 | | |
| ⑨防災環境の充実 | | |

施策の
横断的展開

- ①若者世代を中心とした移住・定住ニーズに対応する横断的施策
②交流人口増による幅広い地域産業活性化
③妊娠・出産・就労・結婚・定住への切れ目のない支援の充実
④新ガーデンデザインプロジェクトの推進

数値目標
基準値
目標値

将来人口推計
からの
人口比率※

基準値
(1,000)

基準値を
上回ること

純移動数
(1月～12月)

(転入者数-転出者数)
+412人

累計人数の
増加

観光入込客数

167万人
(R4)

増加

※「恵庭市人口ビジョン2019」の恵庭市独自推計における2028年人口に対する比率

第3期恵庭市総合戦略【概要版】

令和 6 年（2024 年）6 月発行

恵庭市 企画振興部 企画課

〒061-1498 北海道恵庭市京町1番地

☎：0123-33-3131

HP：https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/

第3期 恵庭市総合戦略

ガーデンシティプラン ～文化・田園未来都市を目指して～ 【概要版】



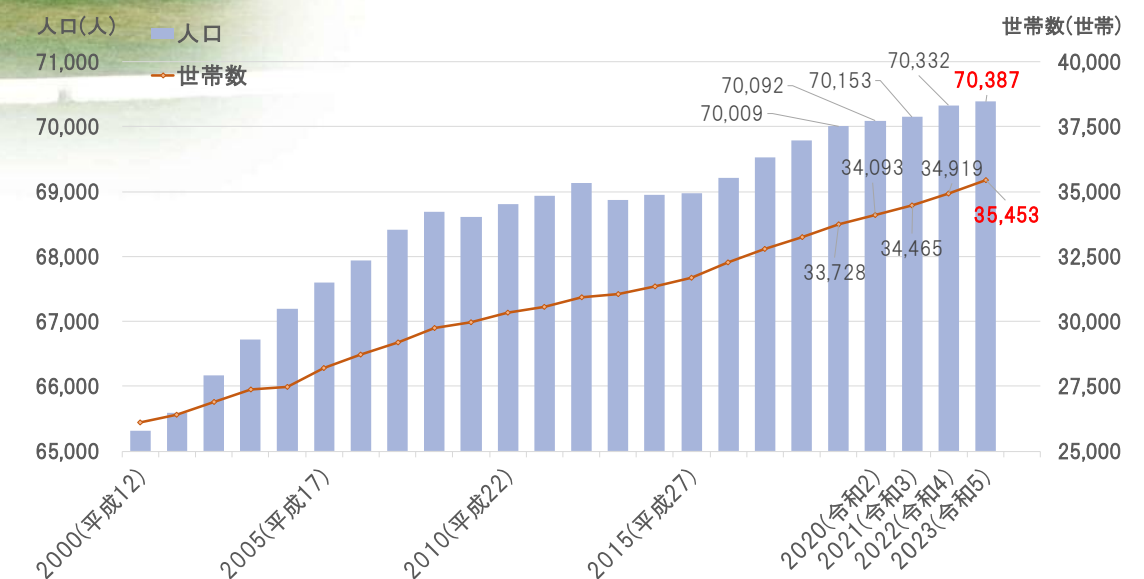
総合戦略は、恵庭市が次世代に向けて更なる発展を遂げ、この地で暮らすことに幸せを感じられるまちをつくり、人口減少や少子高齢化が急速に進む社会情勢においても高い持続性を確保するため、短・中期的に取り組むべき施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。

◆ 恵庭市を取り巻く現状と課題 ◆

- (1) 「人口ビジョン 2019」推計値に対し現状の人口は上回る
- (2) 自然減を上回る社会増で推移するも人口増加数は減少傾向
- (3) 道内全域からの転入により人口は社会増
- (4) 純移動数は 20 代の転出超過が顕著
- (5) 市内の児童・生徒・学生数は減少傾向
- (6) 市内の大学・専門学校・高校の地元就職率は減少傾向
- (7) 技能実習生をはじめ外国籍市民の増加
- (8) 観光入込客数は主に近郊の道内客
- (9) 市民総所得金額は上昇傾向

恵庭市の人口と世帯数の推移(各年 9 月末日現在)

2000(平成 12)年～2023(令和 5)年 〈資料〉市民課



(1)人がつながり人口減少に負けない魅力あるまちづくり

人口減少は避けられないものであり、それに応じたコンパクトシティの推進や民間の力を活用する必要があります。



- ①多世代交流・多文化共生の推進
- ②広域化による機能維持・増進
- ③駅周辺の賑わいづくり
- ④公共施設マネジメント
- ⑤PPP・PFIの推進

(2)安全安心に住み続けたいまちづくり

転入を呼び込む定住のためには、若者から高齢者まで安心して暮らせるまちづくりが必要であり、良質な職・住が求められます。



- ⑥暮らしの情報発信・充実
- ⑦住宅政策の推進
- ⑧健康・長寿の推進
- ⑨防災環境の充実

①若者世代を中心とした移住・定住ニーズに対応する横断的施策

今後も雇用の場を確保するとともに、空き家や空き地などの遊休地を活用した宅地供給を図るとともに、高齢者の住み替えによる既存住宅の活用や流動化事業を進め、さらには若年層のニーズにある賃貸住宅供給も促進するなど、宅地や既存住宅の循環、連携を推進することにより、若者の地元定着及び人口の社会増を目指します。

②交流人口増による幅広い地域産業活性化

道央圏238万人の日帰り観光をメインターゲットとし、本市の特色や地域性である「花のまち」のイメージや農産物、自然景観など、良好な地域資源を活用することで、交流人口を伸ばし、さらには経済波及効果を拡大させ、幅広い地域産業の活性化に結び付けていくことを目指します。

基本目標 (目指すべき将来の方向性)

(3)恵庭らしさを活かした魅力あるまちづくり

恵庭の恵まれた地理的条件を活かし、観光など交流人口を増加させることにより、人口減少による経済縮小を鈍化させる必要があります。

- ⑩地域資源（観光・文化資源）活用・観光振興
- ⑪地域産業活性化
- ⑫ゼロカーボンの推進、地域エネルギー有効活用
- ⑬就労促進
- ⑭中小企業支援事業・起業家支援
- ⑮移住定住促進
- ⑯高等教育機関等と連携した若者定着と知の拠点づくり



(4)希望を持って子育てしたくなるまちづくり

妊娠・出産・子育て・教育の切れ目のない支援により安心して子育てできることはもとより、子育て世代を呼び込むためには、学力向上などの教育・子育て環境を充実させる必要があります。

- ⑰個々人の希望をかなえる少子化対策推進事業
- ⑱妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
- ⑲教育環境の充実、学力向上



施策の 横断的展開

③妊娠・出産・就労・結婚・定住への切れ目のない支援の充実

年代別に施策の対象者は異なり、必要とする支援も異なることから、妊娠・出産・子育て・就労・結婚・定住への切れ目のない支援を体系づけて実施することにより、効果的な施策展開を図っていきます。

④新ガーデンデザインプロジェクトの推進

JR駅を中心としたコンパクトで質の高い住環境、市街地に近接する工業団地を中心とする利便性の高い職場環境、ガーデンツーリズム等の観光機能の更なる強化に取り組むとともに、防災、景観、環境、健康機能を付加し、居心地の良い生活空間づくりを進め、「住みやすいまち、暮らしやすいまち」の戦略的なPRを推進します。

